プレゼン王に俺はなる！シリーズ：アウトライン（プレゼンの台本の書き方）

「何だこのまとまりの無いエッセイは？お前、アウトラインはちゃんと書いたのか？」と英語の先生に言われたのは懐かしい思い出、

アウトラインとは、枠組みと言う意味でプレゼンの台本を書く際、まずは伝えたい要点を箇条書きで書き連ねると言う事を意味しています。

このアウトラインを舐めて、見切り発車で取り敢えず台本を書くのは危険なんです。何故なら、書いて書いて、途中で「うん？何か微妙だな」と思っても、時間を掛けて書いたので、中々、後戻りＡＫＡ書き直しをしようと思えなくなるからです。

本題に戻りますと。まずは

１．あなたが伝えたい事ＡＫＡゴールは何か？を明確にする事

あなたのプレゼン終了後、あなたのプレゼンを聞いた人に何かして欲しい事があるのか？理解して欲しい事があるのか？と言うゴールを明確にするのがまず大事です。

２．あなたのプレゼンを聞く人は誰？

あなたの観客が知ってる事を言っても意味が無いですし、ただただ街で叫ぶ演説では無いので、観客に合わせて、観客の立場に立ったメッセージを届けると言う意識を持てば、何から始めて何を伝えるべきか？と言う事があなたにとってより明確になるのではないでしょうか？

この２つを明記してから、箇条書きで、プレゼンの要点を書き出しましょう。理想としては、イントロがあって、要点が３つありーの、結論で終わると言うアウトラインです。

アウトライン、骨組を作ったら、要点を掘り下げる、血と肉を加えて行けば良いわけです。